

【新市建設計画の変更】

合併特例債の活用は、現時点での合併特例債の借入額は約50%の残約50億円程であるが庁舎整備事業への活用が主であり新たな事業への合併特例債活用については実施計画等で他財源活用も含め検討していくことになる。

【一般会計補正予算】

歳入歳出の主な内容は、市税のうち個人市税の減額理由は農業、給与年金等の課税所得の減少から全体で4700万円

【能代市放課後児童健全育成事業】

事業内容は、本年4月の条例施行後は、放課後児童クラブへの受け入れ児童を小学校6年生までとし、1クラブの定員は5年間の経過措置を設け、おおむね40人以下に変更になる。

今後は基本的に学校の余裕教室の活用や学校敷地内への整備を検討しており、学校なども協議して、必要な施設の整備を進めていく。
【二ツ井テニスコート整備事業】

減であり、法人市民税は非分割法人13業種等で法人税割の伸び率が上がり7200万円増の見込みである。消管理費等では小型動力ポンプ等積載の軽トラツク型車両1台を無償貸付する。消防施設維持補修費に関連して今後同様の工事の際は、周辺土砂が崩れぬよう矢板等を使用する等、各々最適な工法を施工し周辺建物へ影響を与えそうな場合には工損調査を行う。

【旧東能代中学校跡地の利活用についての陳情】
採択すべき・陳情にある

【能代工業高校と能代西高校の統合】

能代西高校の実習農場は、東雲大地に開けた広大な実習農場は、地場農産品の栽培実証や市民の農業体験、児童生徒の命の学習などにも利用され、地元産業界、行政機関、市民との交流の中で効果的な農業指導が行われる

【能代西高校の実習農場】
東雲大地に開けた広大な実習農場は、地場農産品の栽培実証や市民の農業体験、児童生徒の命の学習などにも利用され、地元産業界、行政機関、市民との交流の中で効果的な農業指導が行われる

施設が不足しているという願意は妥当、該当地域の自治会や周辺住民に対して周知を徹底し同意を得ていく必要がある。継続審査に付すべき・旧東中跡地は具体的な検討がなされてこなかった。人口減少や厳しい財政状況では早急な対応に慎重であるべき。審査の結果、採択すべきと決定。
(佐藤)

総務企画委員会

文教民生委員会

各委員会での主な審議結果



産業建設委員会

【指定管理者の指定】

市では7施設の団体について指定管理することとしたが、そのうちの二ツ井総合観光センターを法人に譲渡する考えは、現時点では譲渡するといふことは考えていない。

【浄化槽整備に関する条例の一部改正】
市設置型浄化槽整備事業における分担金を市

産業建設委員会

庁舎整備特別委員会

全域で統一しようとするものについて、二ツ井地域の住民に十分な説明を行っているか。

【農林水産業費】
主な内容は機構集積協力金事業費、県営ほ場整備事業費負担金等のうち、県営ほ場整備事業費負担金の追加理由と事業内容は、

【観光宣伝費】
天空の不夜城PR用ミニチュア製作委託料とは、

の300万円を追加するもので、事業内容は、轟地区のほ場整備の一部14ヘクタール分の暗渠排水である。

大型七夕のPRに力を入れるため、ミニチュアを2基製作するもので、1基は駅や空港に展示、もう1基は各種イベント等に持ち出すことを考えている。
(落合範)

円となつている。
旧議事堂を再利用した場合は、
庁舎建設事業費を抑えるために、新庁舎の議場整備をやめて旧議事堂を再利用した場合でも、設計については詳細な構造計算等を行い国土交通省の大臣認定を要するものとする。議場を整備しないとした場合は一から設計をやり直す必要があり、改めて相当の設計期間と多額の設計費用がかかることから、デメリットはあつてもメリットはない。
将来負担については、将来負担を残さないという考えから減債基金の充当も検討している。

【庁舎整備にかかる事業費】
基本計画の36億3400万円から、地中熱利用設備計画の3億661万9千円と建設物価上昇等で9億2132万円の計12億2793万9千円の増になつたが、合併特例債の活用により実質の負担増は3億2200万

ことが期待できると考えていることから、能代西高校の実習農場を存続し、統合後も引き続き、農業実習に活用することを求めることを当委員会から提案し、議会の全会一致で可決されたことから、秋田県知事、秋田県教育長に能代市議会の意見書として提出する。
(渡邊正)

建設事業費については27年度から29年度に渡つて合計45億7302万1千円が上程され、審議された結果、多数をもって可決された。
(伊藤)